

カタクリと桜

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年04月08日

4月1日（火）池田山公園で、数は少ないのですがカタクリの花を観ました。カタクリは桜より少し早く開花しますが、桜と同じように見頃の時期が短く、はかない花です。（4月初旬）各地の桜は満開の時期を迎えている一方、カタクリは既に満開を過ぎていましたが、2～3輪はまだまだ元気でした。

東京の今年の桜の開花は3月25日で、昨年（3月16日：2002年と並んで、最も早い開花）より9日遅く、ほぼ平年並みでした。昨年のカタクリは、1週間前（3月下旬）には既に満開を過ぎていました。カタクリも桜と同じように今年は平年並みだったのでしょうか。自然に正直な花々です。



4月初旬の区内の桜は満開でした。

目黒川（亀の甲橋より）目黒川桜クルーズ船でお花見
（居木橋より）



東品川海上公園



大井水神公園



しながわ区民公園



カテゴリ : 平成26年度

投稿日 : 2014年04月08日

みどりと花のフェスティバル開催

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年05月08日

4月の土日に区内の4か所で「みどりと花のフェスティバル」が開催されました。（5、6日東品川海上公園、12、13日西大井広場公園、19、20日戸越公園、26、27日しながわ区民公園）
26日（土）10時頃、しながわ区民公園に着くと園芸士の無料配布はすでに終了し、工作コーナーやベンチに大勢の人たちが来ていました。



他には風船の配布、輪なげコーナー、ヨーヨー釣り、植木の販売、軽食コーナー、リサイクル自転車の販売、しながわ水族館の水槽など、公園内の「噴水広場」もにぎわっていました。この日は天気良かったせいで新緑がまぶしく、ハナミズキ、シャクナゲ、ツツジがそれぞれの美しさを競いながら咲いていました。



工作コーナーでは、公園内で伐採された枝の破片、落ちた木の実などを使った木工のオブジェ制作をしている人がいました。輪切りの破片のほかに、枯れ枝がそのまま置いてあるなど、例年を比べていろいろな作品が仕上がっていました。また子どもだけでなく保護者の方々の作品もあり、力作が目立ち、なかなかの出来栄でした。来場者の方は、「初めて来ました」「無料でうれしいね」とおっしゃっていました。



作品いろいろ。午前中のため、まだまだ仕上がった作品は多くなかった。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年05月08日

ツツジが見ごろを迎える季節

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年05月09日

5月5日は立夏で、暦の上では夏です。温暖化の影響でしょうか、最近20年はそれ以前に比べ夏日（最高気温が25℃以上の日）が多くなっています（東京/年間103日前後→119日）。また以前は夏日の初日が5月3日（東京の平均）で、ほぼ暦通りだったのですが、最近はそれより10日以上早くなっています。暑さに体が慣れていない内に暑くなるため、暑さに対する対策が必要になりますとのことでした。



(NHK総合TV'おはよう日本'／H26年5月4日)

閑話休題、ゴールデンウィーク中の5月4日（日）、ツツジがきれいな池田山公園に出かけました。

入口ではきれいなピンクのツツジが迎えてくれ、早咲きのもは一部見ることができましたが、全体としてはこれからといったところ。



もうしばらくすると、ツツジ・サツキで一面（下左中写真）覆われることでしょう。

1か月前は桜が咲き誇っていた目黒川沿いも、今はツツジが見ごろを迎えています。（下右写真）

地球温暖化が叫ばれる今日ですが、花々の開花日は毎年変わります。自然の摂理ですね。



排気ガスに強い品種は道路の中央分離帯や歩道沿いに植えられています。こちらも元気です。



カテゴリ : 平成26年度

投稿日 : 2014年05月09日

鯨洲入江広場

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年05月09日

鯨洲入江広場は2013年4月16日にオープンした新しい公園です。鯨洲入江が埋立てされて建設された東京都下水道局の鯨洲ポンプ所雨水貯留池の上部に整備され、南側はしながわ花海道とつながっていて、四季折々に咲く花々を楽しみながら散策できる公園です。訪れた日は芝桜が満開でした。



鯨洲ポンプ所雨水貯留池には目黒区と品川区の一部から汚水と雨水と一緒に流れ込んできます。鯨洲入江広場公園の地下には41000m³の貯留池があり、勝島運河の水が汚れないようにしています。汚れた下水を一時的に貯めて、その下水が勝島運河に流出する量や回数を減らすことで良好な水環境を作り出しています。

川などから汲み上げられた水は暮らしの中で使われます。使われて汚れた水は下水道管を通して、水再生センターに送られます。水再生センターできれいに生まれ変わった水は再び川や海に戻されます。このように下水道は、水の循環の中で大切な役割をもっているのです。

地下にあって私たちの目には見えませんが、下水道には◆快適な暮らしを見守る◆地球環境を守る◆浸水から街を守るという役割を担い、都市における水の循環と環境を守ってくれる働きがあります。東京都下水道局のホームページによると、水再生センターは東京23区内には13か所、多摩地区には7か所の計20か所が現在稼働しているそうです。



しながわ花海道に植えられた菜の花の見頃はほぼ終わっていましたが、一部が残っていました。途中には雨水タンクがあって花壇の手入れなどに利用されています。今後植えられる芝桜も楽しみですね。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年05月09日

‘しながわエコフェスティバル2014’開催

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年05月30日

5月25日（日）晴天の下、‘しながわエコフェスティバル2014’が開催されました。
 当日の東京の最高気温は27.3℃でしたので、会場のしながわ中央公園は、場所によっては30℃近くになっていたかも知れません。その中で、昨年（26436人）以上の来場者があったとのことでした。



以下、ごみ・資源回収、小学生が保護者と参加したワークショップ、エコカーについてレポートします。

(1)ごみ・資源回収

ごみは持ち帰りが原則です。ごみの量は年々減少しているようですが、今後も更に減らしたいですね。これには参加者皆さんの協力が第一です。また、今回は回収型容器「リ・リパック」（食のブースで使用）が使われていました。これは容器（トレイ）の内側にフィルムが貼ってあり、使用後はそれをはがして、フィルムは燃えるごみに、トレイは別途回収して資源としてリサイクルするというすぐれものです。



(2)小学生が保護者と参加したワークショップ

非木材パルプを使ったハガキ作り、間伐材に色を塗ったり組み立てたり、アクリルたわし編み、顕微鏡による自然観察、望遠鏡組み立てやLEDライトで光の三原色の不思議体験などを楽しみました。





(3) エコカーとカーシェアリング

燃料電池車、電気自動車といった今後が期待されるエコカーの試乗会がありました。

試乗した人は「非常に静かで、快適な乗り心地でした」とのことでした。またEV（電気自動車）カーシェアリングの紹介もありました。

カーシェアリングは、自動車の利用頻度を抑えることにより、エネルギーの節約や排出ガスの削減につながり、エコに貢献します。また経済的でもあり、カーシェアリングのステーションが増えています。



その他にもさまざまな企画があり、参加者は楽しい1日を過ごすことができましたと思います。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年05月30日

大井町自然再生観察園でホタルの飛翔を確認

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年06月06日

5月28日、小野学園女子中学・高等学校の小澤良水先生から、大井町自然再生観察園にてホタルの飛翔が確認されたとの連絡がありました。

同校では予定通り、「ホタルの夕べ」を実施するとのことでした。

「ホタルの夕べ」実施予定：6月7日（土）～8日（日）19:30～21:00

「昨年よりも多くの方が来園されると予想されており、少々お待ちいただく時間もあるかと思いますが、ご了承いただければと思います」とのことです。ぜひお出かけ下さい。

ホタルの夕べ
～大井町自然再生観察園～

日時：6月7日（土）～8日（日）【予定】
19:30～21:00

※ホタルの生育状況によって日程が変更となります。
小野学園ホームページにてご確認のうえ、お越しください。

小野学園女子

小野学園女子中学・高等学校

カテゴリ：平成26年度

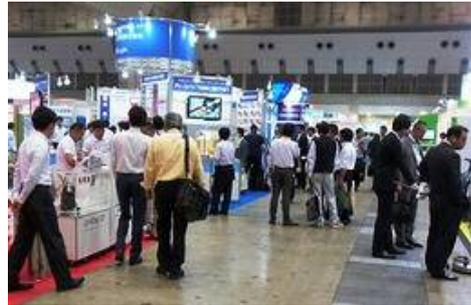
投稿日：2014年06月06日

「環境展」に行ってきました

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年06月06日

5月27日（火）～30日（金）東京ビッグサイトで開催されていた'2014NEW「環境展」・「地球温暖化防止展」'に出かけてきました。主に企業対象の展示会のため、一般客は少なかったようですが、環境ビジネスの明るい近未来を感じました。



「節電・省エネ対策エリア」では、「LEDに代わるエコ照明」を紹介するブースがありました。

「eco検定」の紹介コーナーもありました。「eco検定」のチラシには「環境に関する幅広い知識を礎に率先して環境問題に取り組む「人づくり」と、環境と経済を両立させた「持続可能な社会づくり」を目指す」とあり、環境に関わる人たちに、環境についての基礎知識を学んでほしいという意図があると思います。



品川区のパビリオンでは8社が出展していました。また大学の出展もありました。



「地球温暖化防止展」では、WWF ジャパンが、自然を守ることの大切さや、自然エネルギーは期待できることなどを、12枚のパネルで紹介していました。また地中熱利用システムの紹介等、化石燃料に頼らない社会の実現可能性が見えて

きたような気がしました。



カテゴリ : 平成26年度

投稿日 : 2014年06月06日

虹の下水道館に行ってきました

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年06月13日

平成26年6月7日（土）に有明水再生センターのガイドツアーに参加しました。この場所は東京都の“見える下水道のまち”を舞台にした体験型施設です。土日祝日に開催しているガイドツアーの他、お仕事体験プログラム、レインボーシネマなど下水道の役割や水環境の大切さを学べる施設になっていて、東京臨海新交通線（ゆりかもめ）お台場海浜公園駅下車徒歩8分の有明水再生センターの5階にあります。



外観（のぞみ橋から） 室内には下水道の見本があります お仕事体験用のヘルメット他

当日はあいにくの雨で参加者は3組、私以外は4名の家族が2組の計9名と少なかつたせいか、30分前に申し込んだら参加ができました。このツアーは地下にある有明水再生センターを見学できる約1時間のプログラムで、見学の注意事項や下水道のしくみを伺って11時に出発。最初は外にでて、隣の有明清掃工場を見ながら、施設の外観を見学、そして地底ツアーの雰囲気がある地下へ。東京都には13ヶ所の水再生センターがあって、下水道に集まった水はきれいになって再生利用されています。トイレ用水、公園の噴水、「ゆりかもめ」や「新幹線」などの車両清掃などにも使われるそうです。



下水が最初に入る池である「沈砂池」では臭いをカットする装置があり、技術の進歩でしょうか、以前清掃工場を見学した時にも感じましたが、その時と同じで臭いはほとんどありません。



脱臭用ダクト

第一沈殿池の水の様子

第一沈殿池付近

次は「第一沈殿池」です。ここでは下水を約2時間かけてゆっくり流し、沈みやすい汚れが沈殿されます。



反応槽の水槽

攪拌し空気を送り込む 反応槽見本、微生物はビーズで代用

次の「反応槽」では微生物の入った泥を加えて空気を送りこみ、かき混ぜて微生物に汚れを分解してもらいます。ここでは約18時間かかります。

さらに「第二沈殿池」では「反応槽」でできた泥の塊を約4時間かけて沈殿させ、上澄みと汚泥に分離します。ここまで来ると臭いもない透明な水になっていました。

その後再生水を塩素で消毒して、窒素やリンを除去してから、川や海に放流し、汚泥は処理施設でその一部はレンガなどに加工され、他は燃えるごみとして焼却されます



水を汲んでいる 透明な入れ物に水をいれた 子ども向けのクイズ

見学ツアーの途中には子供向けのクイズが3問用意されていて、終わったあとの答え合わせでは子どもたちが元気に答えていました。水の浄化には24時間かかる、1日1人が使用する量は230ℓ、有明水再生センターの処理能力は1日30000m³であることがわかりました。

ツアーの終わりに「下水に油を流さないでください、紙でふき取って燃えるごみとして出してください。さもないと下水道管の細い所が詰まることもあるので」と案内の方からお話がありました。

無料で、勉強ができ、地底探検の気分になり、大人も楽しめるツアーでした。夏休みの自由研究にぴったりの穴場スポットになりそうです。訪れてみてはいかがでしょうか？

／^bu

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年06月13日

板橋区の環境イベントを見学しました

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年06月26日

6月22日（日）板橋区で開催されていた環境イベント「環境なんでも見本市」を見学しました。



(1) ワークショップ、体験コーナー

首都高速道路で使用済みの横断幕を利用して、エコバッグを作る「リサイクル工作」は人気があり、親子連れなど多くの方が参加していました。



どんぐり工作や木の实や枝の自由工作もでき、かわいらしい作品ができていました。



その他にも、「おせんたく実験教室」「紙すき体験」「自転車の力で水をきれいに!？」など、各コーナーで多くの参加者が楽しんでいました。

(2) 環境クイズラリー

展示コーナーには52団体の展示があり、そのブースをまわってクイズにチャレンジするというものです。こたえはブースに貼ってある番号から選び、20か所以上まわると景品がもらえます。

こちらも人気がありました。

21日（土）と22日（日）の2日間にわたり開催された「環境なんでも見本市」には、講演会や試食会もあり、またいろいろなコーナーやワークショップに多くの区民の参加があり、楽しい一時を過ごすことができたと思います。当センターでも参考にさせて頂きたいと思います。

品川区環境情報活動センター

カテゴリ：平成26年度

投稿日 : 2014年06月26日

【お花のコラム】京都府立植物園のバオバブの花

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年09月24日

先週末、京都府立植物園に、バオバブの花を見に出かけました。

花期は8月中という情報があり、電話をしたところ、「今晚咲きます。明日午前中ならば大丈夫ですよ」とのことでした。

サン・テグジュペリの「星の王子さま」の本に、おそろしいものとして登場する「アフリカバオバブ」、巨大になるという幹からは想像できない、白くやさしい花で、ぶら下がった果実もまた、かわいいものでした。



平成26年9月17日

環境カウンセラー 倉田智子

30年前、国立公園のボランティアレンジャーとして活動を始めました。見たことのないものに出会えるのは、とてもうれしく、名前を調べるのも楽しみです。未だにふしぎ大好き人間やっています。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年09月24日

お天気と雲と雨のお話

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年09月24日

9月3日（水）、品川区立二葉保育園でお天気のお話「おてんき と くも と あめのおはなし」がありました。講師は、品川区環境情報活動センターの大島正幸さん（気象予報士）です。

おてんき と くも と あめの



おはなし

お話が始まる前に、園児の皆さんの元気な声が聞こえてきました。

「9月3日水曜日、お天気は晴れ！」今日の予習をしてくれているのかな？



飛行機に乗って富士山を見ました。

地上では雨が降っていたのに、富士山の頂上では晴れていて、青空でした。

飛行機から見る雲はベッドのようで、この上で寝ることができるかな？

「できない！」…みんなよく知っていました。では、どうしてでしょう？

雨は大きな水のつぶ、霧雨はそれより小さな水のつぶ、雲は非常に小さい水のつぶの集まりです。

だから、雲の上には乗れませんね。

続いて、ペットボトルを使って雲を作る実験をしました。先生もお手伝いしてくださいました。



高い山に登ったときと同じ状況をつくりました（気圧を低くしました）が、袋菓子やマシュマロはどうなるでしょう？

…… 袋はふくらみ、マシュマロは大きくなりました！

缶コーヒーを使った実験もあり、園児の皆さんは楽しく勉強できたと思います。



最後にカミナリのお話です。

黒い雲が近づいてきたり、カミナリの音が聞こえたりしたら、すぐに丈夫な建物など、安全な場所に移動しましょう。

以上のお話を、お父さん、お母さんからお子様にして頂けたらうれしいです。

最後に、お話のお礼に、みなでお歌「手のひらに太陽を」を歌ってくれました。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年09月24日

「川口順子が語る‘持続可能な海’」を聴講して

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月01日

NPO法人 環境ベテランズファーム（EVF）創立7周年記念のセミナーを聴講してきました。講師は、元環境大臣、元外務大臣で、現在明治大学国際総合研究所特任教授の川口順子氏です。

（日時：平成26年9月26日（金）、場所：きゅりあん大会議室）



<↑セミナーチラシより>

講師は、世界海洋委員会（GOC）の委員に就任されており、今回の講演は、公海の持続可能なガバナンスを目指して、問題解決のための一つの取り組みに参加されての話でした。同委員会は、海洋の悪化に歯止めをかけ、海洋の完全なる健全性と生産性を取り戻すための、国際的なリーダーをメンバーとする独立した団体で、ビジネス・リーダーや開発の専門家に加え、卓越した政治家が世界中から参集しています。

活動は、国連海洋法条約の下に、公海の遺伝資源をめぐる法的枠組みを策定することを確実にするための働きかけを行うというもので、本年6月24日に「劣化から再生へ～世界の海洋のレスキューパッケージ～」という報告書を発表しています。

http://www.globaloceancommission.org/wp-content/uploads/GOC-Report-Summary.2014.FINAL_.JAP_.pdf

人類にとっての海について考えてみます。

海は、多くの人々に生活手段や食料を提供しており、世界最大の生態系を形成し、人間の健康、社会、経済を支えるサービスと資源を提供しています。また、人間が呼吸する酸素のほぼ半分を生産し、人間が排出する二酸化炭素の1/4以上を吸収しています。このように、人類に非常に大切な役割を持つ海で、今日様々な問題が発生しています。

以下は、そのほんの一部です。

- ・海水温の上昇で、60年後には日本近海で造礁サンゴが全滅する可能性がある。
- ・小さい魚の減少で、食物連鎖に大きな影響が出る。
- ・海洋資源への需要が増大する一方、資源そのものが減少している。
- ・漁業規制を設けているが抜け穴ばかりで、守らない国を止められない。
国連海洋法条約があるが、これも上記同様、機能していない。
- ・マスコミでは「うなぎが、トロが食べられなくなる」といった報道ばかりが多いように思う。何年か我慢すれば（できれば）食べられるようになるのだが・・・
- ・海水温は上昇したり、下降したりしているが、海洋の酸性化は一義的に進んでいる。

米国における市場（消費者、サプライチェーン）側の取り組みの一例が紹介されました。その一つ、スーパーマーケットで売っている魚（切り身）について、自ら売りながら「（この魚は資源が少なくなりつつあるので買うのを）避けましょう」「これは大丈夫」など、どういう魚に問題があるかを表示しています。日本ではこういったことはありませんね。この様な問題にもっと関心を持ってほしいと思います。

最後のまとめとして、以下の話がありました。

- ・海にこれだけの問題があるにも関わらず、この問題が過小に取り扱われている。
 - ・消費者として、国民としてもっとやるべきことがたくさんあるはず。
 - ・このまま放っておくと生態系が崩れ、地球が守れなくなる。
 - ・世界は（冒頭の話の様に）このように大きな仕組みで動いている。
- グローバルな視点から、海の大切さについて聞く事が出来ました。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月01日

エコアクション21認証企業訪問

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月01日

NPO法人エコタウンしながわの野口栄美氏（中小企業診断士）が、エコアクション21の認証取得企業を訪問され、そのご報告を頂きました。

訪問日 平成26年9月9日

企業名 TOHTO株式会社

取締役社長 野澤 重雄

事業活動の内容 油圧機会の部品の製作・輸入・販売業務

本社所在地 東京都品川区南大井6-20-8

平成24年にエコアクション21（以降EA21）を取得された、油圧機器の輸入販売をされているTOHTO様を訪問し、取締役社長 野澤様とエコアクションご責任者の大原様にお話を伺いました。

TOHTO様の環境理念は、「TOHTO株式会社は、製造／卸販売業を通じて、環境に配慮した事業活動を行い、EA21環境経営システムの運用を基本に事業活動を進め、環境に優しい企業を目指します。」となっています。

実際、EA21取得後、社員の皆さんがどう変わられたかお聞きすると、日々の業務を遂行する中で、各人が省エネ意識を高く持ちCo2削減に取り組まれているとのことです。TOHTO様は、品川本社に営業技術部、総務部等があり、また静岡県御殿場に工場を保有し、製造、組立、テスト等を行っています。それぞれの部署の方が、それぞれができる省エネに取り組まれています。例えば、オフィスでは、電気は小まめに切り、クーラーの設定温度も遵守しています。工場では、使用していない機械、設備の電気は入れず、使用するエリアだけの電気をつけて作業されています。また、省資源で仕事を進める努力もされ、廃棄物やゴミの発生量を低減すると共に、節水にも努め、排水量を低減されています。

このような取り組みから、事業規模の拡大に伴いエネルギー消費量は若干増えてはいるものの、従業員一人当たりのエネルギー消費量は確実に低減されています。

このような各人の環境意識の高さも、EA21を取得するに当たったの活動を通じ、全社員で意識を共有したことと、取得後も、野澤様や大原様による継続的な行動方針徹底の呼びかけをしてきたことによります。

今後も、社有車のディーゼル車への転換や、物流体制の見直し等を行い、積極的に環境改善に努められるそうです。環境に優しい企業に、全社一丸となり取り組まれている様子が伺え、今後のTOHTO様に更なる期待が持てる訪問となりました。

訪問記事：野口

栄美



カテゴリ：平成26年度

投稿日 : 2014年10月01日

お天気教室「お天気のふしぎと楽しい気象実験」

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月08日

5月29日（木）旗の台文化センターで、お天気教室「お天気のふしぎと楽しい気象実験」が開催されました。講師は、一般社団法人日本気象予報士会サニーエンジェルス（女性を中心とした気象予報士のグループ）のみなさんで、参加者は、お母さんと幼稚園児15組、約30名でした。

教室では、◆お天気クイズ、◆雲を作る実験、◆地球温暖化の話、◆気圧実験、◆風速ゲーム、◆防災の話と、盛り沢山でした。



①クイズに答えるみなさん



②雲を作る実験

◆クイズには子どもたちも元気に手を挙げて答えていました。

◆雲を作る実験では、ほぼ全員が雲を作ることができました。

◆お話（地球温暖化、防災）はお母さん向けだったので、子どもたちは飽きて騒いでしまうかと心配でしたが、さすがお母さん気象予報士の皆さん、そのような心配は全く無用で、子どもたちもおとなしく、楽しんで聞いている様子でした。

◆気圧の実験

浅漬け用の容器（減圧できる容器）を使って実験しました。マシュマロや缶コーヒー、袋菓子を使っての実験でしたが、マジックを見ているようで、みんな楽しそうでした。

◆風速ゲーム

風速計に向けてうちわで頑張って風を送り、風速何m（/秒）の風が出せるかを競いました。

当日はケーブルテレビ品川の取材が入り、良い映像が撮れたと思います。



④気圧実験(左:マシュマロ、中:袋菓子、右:缶コーヒー)



⑤風速ゲーム

この教室は、'N P O法人エコタウンしながわ'の企画でした。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月08日

「天気のおしぎと気象実験」 浜川小学校

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月08日

6月7日（土）浜川小学校の課外授業として「天気のおしぎと気象実験」が開催されました。

同校では今年度9回の「浜川科学教室」を開く予定になっており、その1回分としての開催です。この教室の目的は、楽しい理科の実験をすることで理科離れを 방지、理科に興味関心をもてる児童の育成を図っており、成果も上がっているとのことでした。

通常は、矢田校長先生、宮原副校長先生をはじめ、先生方が担当されますが、今回は一般社団法人日本気象予報士会サニーエンジェルス（女性を中心とした気象予報士のグループ）の5名のみなさんが講師となり、4年生28名が出席しました。また矢田校長先生、宮原副校長先生も聞いてくださいました。

（1）お天気クイズ・・・クイズに生徒たちは元気よく手を挙げて答えていました。



（2）雲を作る実験

ペットボトルなどを使って雲を作る実験をしました。全員が交代して雲を作ることができました。

（3）気圧実験

浅漬け用の容器（減圧できる容器）と、袋菓子やマシュマロ、缶コーヒーを使っての実験です。

マジック(?)を見ているようでした。

（4）台風風の風に挑戦するゲーム

風速計に向けてうちわで頑張って風を送りましたが、風速何m（/秒）の風が送れたかな？



②雲を作る実験



③気圧実験（左：袋菓子、右：マシュマロ）



④ 台風風の風に挑戦

（5）まとめ

いろいろな雲のはなし、地球温暖化のはなし、防災のはなしなどに、児童の皆さんは真剣に耳を傾け、問題に答えていました。さらに質問コーナーでは、終了時間を過ぎててもまだ手があがっていました。さすがに理科好きの皆さんでした。

この教室は、'NPO法人エコタウンしながわ'の企画でした。

カテゴリ: 平成26年度

投稿日: 2014年10月08日

「天気の不しぎと気象実験」 山中小学校

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月08日

9月20日（土）山中小学校「山中おやこエコクラブ」で、お天気講座「天気の不しぎと気象実験」が開催されました。同クラブは、山中小学校の児童と保護者・先生が一緒になって活発なエコ活動を行っており、平成23年度の“しながわ環境大賞”をはじめ、環境に関わる活動で数々の受賞実績があります。

同クラブは、年間を通じた菜園活動と、概ね月1回、エコに関わるイベントを行っており、今回は一般社団法人日本気象予報士会サニーエンジェルス（女性を中心とした気象予報士のグループ）の4名のみなさんが講師となり、1～6年生23名と保護者20名、また田邊校長先生、東田副校長先生も参加して頂きました。

（1）お天気クイズ・・・クイズに生徒たちは元気よく手を挙げて答えていました。



（2）気圧実験

浅漬け用の容器（減圧できる容器）と、袋菓子やマシュマロ、缶コーヒーを使っての実験です。

マジック(?)を見ているようでした。



気圧実験（左：袋菓子、中：マシュマロ、右：缶コーヒー）

（3）雲を作る実験

ペットボトルなどを使って雲を作る実験をしました。全員が交代して雲を作ることができました。

（4）台風の風に挑戦するゲーム

風速計に向けてうちわで頑張って風を送りましたが、風速何m（/秒）の風が送れたかな？



雲を作る実験



台風のお風に挑戦

(5) まとめ

天気にかかわる楽しい問題に取り組み、気圧変化で起こる様々な現象、簡単に雲が作れる実験、更に防災のはなしなどに、児童や保護者の皆さんは真剣に耳を傾け、実験に取り組んでいました。終了時間を過ぎても、何人もの児童が実験を続けていました。理科好きの皆さんでした。

この教室は、'N P O法人エコタウンしながわ'の企画でした。

カテゴリ: 平成26年度

投稿日: 2014年10月08日

EA21フォローアップ通信

カテゴリ：平成26年度

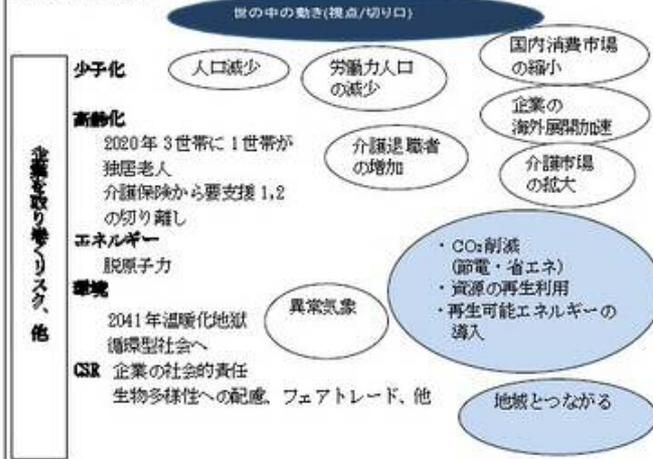
投稿日：2014年10月16日

PDFバージョン（4ページ目の下）をクリックしてください

<p>2014年度 Vol.1 平成26年10月1日 発行： 特定非営利活動法人 エコタウンしながわ 品川区広町2-1-36 電話：03-6742-6633</p>	<h1>EA21フォローアップ通信</h1>
<p>1. 理事長挨拶</p> <p>「エコタウンしながわ」は、品川区を拠点に区とのパートナーシップ事業（リサイクルショップリボン、環境情報活動センター運営）や環境学習支援、EA21 環境経営システムの啓発、普及等の活動に取り組む特定非営利活動法人です。</p> <p>この度、区内のEA21を導入された事業者の方々へ向けて「EA21フォローアップ通信」を発行することになりました。</p> <p>より効果的にすすめるためのフォローアップの一環として最新情報をお届けし、皆様とのコミュニケーションを深めていきたいと考えております。</p> <p>2. EA21 のしぐみを経営改善にどう活かしていくか</p> <p>本マネジメントシステムを、単に環境視点だけで運用するのではなく、自社の管理システムのレベルアップのために活用をしていきましょう。</p> <p>1) 環境負荷低減活動から業務改善、さらに経営改善活動との一体化</p> <p>→経営指標の改善を目指す活動へ</p> <p>→たとえば、売上高経常利益率〇〇%を目指す</p> <p>ポイントは以下の3点です。(①、②、③)</p> <p>また、自社の事業活動が、エネルギー多消費型でない場合は、内部プロセスの環境負荷削減だけでなく、自社の商品・サービスによる間接的な負荷削減の取り組みも考えていきましょう。</p> <p>●目指す方向</p> <p>①顧客はだれかを明確にする</p> <p>②提供する商品・サービスをひるげていく</p> <p>③やり方(内部プロセス)の改善</p>	

また、自社を取り巻く経営環境の変化を押さえましょう。(下記に一例を示します)

●リスクとチャンスへ



2) 経営改善ツール紹介

自社商品・サービスを市場に提供するときの考え方として、以下があります。

ポーターの基本戦略

企業が競争を行っている市場から競争に巻き込まれます。競争に巻き込まれた商品の競争の強さがゲームを左右します。コスト削減が考えられる3つの基本戦略です。



競争で勝敗に立つには、自社ほどのような競争優位性を考える必要があります。中小企業においては、差別化戦略及び集中戦略を軸と考えるべきです。強めとするターゲットを絞り、独自の強みを発揮することを考えるのがいいかでしょうか？

3. 区の施策紹介

品川区では、基本構想をもとに、長期環境計画として以下の基本計画を定め、公表しています。要点は以下です

1) 第二次品川区環境計画について

- ・計画期間：平成 25 年度～平成 34 年度
- ・基本目標：低炭素社会の実現、循環型社会の実現、他
この中で、事業者様に関係するものは以下があります。
 - ・省エネ、節電、再生可能エネルギー推進(低炭素社会の実現)
 - ・廃棄物抑制、リユース・リサイクル推進(循環型社会の実現)
- ・共通目標：環境教育・環境コミュニケーションの充実
この中で、事業者様に関係するものは以下です。
 - ・事業者との協働(パートナーシップ)による活動推進)

2) 環境課活動紹介

環境課では、上記計画実現のために種々の取り組みを行っています。その中で今年度重点プロジェクトとして、事業者様に関係するものは以下です。

- ①再生可能エネルギーの導入促進
- ②環境コミュニケーションの充実

3) 区の環境関連助成制度紹介

区の環境関係にかかわる、施策は以下のものがあります。

●成長産業支援(平成 28 年度の募集は終了しました)

- 下記に対し、費用の一部助成(限度:500 万)
- ①環境に配慮した新エネルギーに関連する新製品・新技術
 - ②省エネルギー化に寄与する新製品・新技術
 - ③3R(リデュース・リユース・リサイクル)に寄与する新製品・新技術

その他、以下のサービスが提供されております。詳しくは区のホームページ、あるいは担当課へ直接お問い合わせください。

- ・ISO 認証取得支援事業(平成 28 年度の募集は終了しました)
- ・EA21 認証取得支援事業(平成 28 年度の募集は終了しました)
- ・エコパワーカンパニーの募集
- ・太陽光発電システム設置支援助成事業
- ・低公害車買換え支援事業
- ・事業所用 LED 照明設置費用の一部助成
- ・屋上緑化等助成制度

情報入手方法

品川区ホームページ⇒まちづくり(画面左下)

⇒お知らせ

- ・環境 ⇒
 - ・環境課の新規取り組み
 - ・助成・支援 ⇒環境ビジネス支援
 - ・成長産業支援
- ・環境情報活動センター

4. 区内取り組み事業者訪問(エコタウンしながわ企業訪問)

環境に配慮している企業として、平成26年3月7日にアクシア行政書士事務所の星野代表を訪問しました。

エコアクション21(以降EA21という)認証取得が経営に与える効果と環境方針での環境理念、基本理念、目標実績等お聞きしました。星野代表によると現在は認証を継続していないが、EA21環境経営システムに配慮した経営を行い、日々の業務で環境負荷を小さくする努力し、環境に配慮した商品のグリーン購入を推進しています。

行政書士の認証可業務と環境の関係性は、業務を遂行する中で、EA21の考え方である管理のPDCA等がとても参考になり、経営改善に取り入れることができます。又、自ら取得することで、EA21を希望する企業への紹介も容易になります。

EA21を取得することで、入札等の時に環境に配慮した企業としての評価が得られるメリットもあり、必要に応じてエコアクション審査員を紹介します。

お話を伺いながら、星野代表は環境問題に関して、EA21取得の希望があれば助言や紹介を行う。許認可業務を通じて企業が成長するための経営者へのコンプライアンスを含む助言や支援等、環境に配慮した企業と共生し、地域貢献への意欲が感じられました。

写真は星野代表と感謝状、委嘱状、環境方針、アクシア行政書士事務所様の紹介です。




訪問記事 西谷 茂

事務局からのお知らせ

> 本会報の編集委員募集

今後年2回、会報を発行する予定です。
つきましてはその編集委員を募集します。
(「特定非営利活動法人エコタウンしながわ」の会員になっていただくことが前提です)
ご希望の方は事務局までご連絡ください。当面はボランティアとします



編集後記
ともかく第一号の発行にこぎつけました。
今後ともみなさまとの取方向情報交換につとめ、内容を充実させていきたいと思っています。
発行・編集：特定非営利活動法人エコタウンしながわ
発行日：平成26年10月1日

PDFバージョン

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月16日

二つの海洋島(1) ガラパゴス諸島と東洋のガラパゴス・小笠原諸島

カテゴリ：平成26年度
投稿日：2014年10月16日

環境学習講座で講演していただいた倉田智子氏（環境省環境カウンセラー）から、ガラパゴスの近況を含め、「二つの海洋島」というタイトルでまとめられた資料をお送りいただきました。

今後6回にわたって本コーナーでお伝えします。今回はその第1回です。
なお、倉田氏にはガラパゴス（2011年5月）や小笠原諸島（2014年6月）それぞれの自然について、これまでに当センターでお話して頂いています。
ガラパゴスは特別な存在でしょうか。生息する生き物は、確かにどれも進化を遂げて、目を見張るものがあります。生きていく上で、地域の違いの差はあれ、「食べる。寝る。」は共通、特異性を強調するのではなく、平易な伝え方はできないか模索中です。（倉田智子）

PDFバージョンをクリックしてください

二つの海洋島 ガラパゴス諸島と東洋のガラパゴス・小笠原諸島

発行所 環境カウンセラー 倉田智子

海洋島とは：大陸と一度もつながったことのない島

二つの海洋島は 陸地から1000kmも離れているため、現在生息する生き物は3つのW（Wind 風・Wave 波・Wing 鳥）により島にやってきた。そのため特殊な生態系が創られている。環境のわずかな変化で生存が脅かされる。人間が持ち込んだものによって壊れやられちゃう。現在両島とも、自然に馴染み、楽しむがために、あるべき自然を保全するために奮闘している人と、方策の道を見つけることができる。

ガラパゴス関連ニュース2選

2014年 7月 22日 上野国立科学博物館で「チャールズ・ダーウィン研究所設立 50周年記念講演」

主催：国立科学博物館 / 協賛：東京動物園協会 上野動物園 / 協賛：特定非営利活動法人 日本ガラパゴスの会

■ガラパゴスからの便り「ソウガメ、キミはどこから来たの？」が開催された。残念ながら応募者多数で抽選できなかった。

【1】上野動物園両生爬虫類館 25周年とガラパゴスソウガメについて（上野動物園 両生爬虫類館展示係長 荒井 真氏）

【2】DNA でわかる！ガラパゴスソウガメの由来（特定非営利活動法人 日本ガラパゴスの会理事長 清水 善和氏）

【3】ガラパゴスの生き物の魅力と現状（チャールズ・ダーウィン研究所長 スウェン・ロレンツ氏）

上野動物園のタロウ君はガラパゴス諸島のどこ出身か不明のため、科学者によりDNA鑑定が行われるそうである。



2015 タロウ君 1969年にベレー動物園から来園
タロウ君の足跡80歳以上、上野で一歳のみ



タロウ君の卵のくみ



2011.5.2 ロザムンドジョージ 2012.6死亡 体長100歳以上
2014.9.18 ニューヨークアカカ自然史博物館にて、体長表示欄

■日本経団連自然保護協議会は長年にわたり、ダーウィン研究所を支援している。経団連ホール：7月23日の記念講演会。

(1)「日本ガラパゴス交流史」 日本ガラパゴスの会会長 伊藤 秀三氏

伊藤秀三氏は生態学者、長崎大学名誉教授。ガラパゴス研究の第一人者で1964年からガラパゴスを訪れている。

(2)「Science for the conservation of the Galapagos Islands ガラパゴス諸島の保全のための科学」 Swen Lorenz 氏

日本の企業向け支援意識の講演であるため、自然紹介はわずかであったが、すごい映像が映し出された。陸産ヘビが魚を食べる瞬間である。2010年の滞在で、サンクリストバル島でその姿のみを見ることができた。動きは早く、あつという顔に石垣の隙間に隠れてしまい、画面の端に姿を現れるのがやっとであった。ガイドブックには「あつ」と見られず「あつ」とあり、選がよかつたようである。



スウェン・ロレンツ氏(チャールズ・ダーウィン研究所理事長) 伊藤秀三氏



Alsephidix maculata: 長さ220cm 経団連ホールでの講演の時に生息

PDFバージョン

カテゴリ: **平成26年度**

投稿日: 2014年10月16日

‘朝日地球環境フォーラム2014’に参加して

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月17日

10月1～2日、帝国ホテル東京で開催された‘朝日地球環境フォーラム2014’に、たまたま参加することができましたので、その報告を致します。ただし、一部は、環境省ホームページなどの資料を参考に記載しています。



私が参加したのは、2日のテーマ別セッション「日本の温暖化対策」と「ウナギはなぜ消えた？」です。

【日本の温暖化対策】講師：環境事務次官 鈴木正規氏

“低炭素社会の実現に向けて”

（1）気候変動の影響とリスク

IPCC（Intergovernmental Panel on Climate Change）の第5次評価報告を中心に話がありました。IPCCは国連と世界気象機関により1988年に設立された組織で、現在世界中から数千人の専門家が地球温暖化など、気候変動に関する研究成果をまとめ、問題解決に向けての活動を行っています。

将来予測によると、世界の平均気温は21世紀末に最大4.8℃上昇（緩和策を実施しない場合、2.6～4.8℃上昇）すると予測しています。過去は1万年でも数℃の上昇だったが、近年のこのような急激な温度上昇は、生物や社会に大きな影響を及ぼします。今回の報告では、「温暖化は人為的な影響の可能性が極めて高い（95%以上）」と結論づけています。

8. 将来の気温の予測
将来の世界平均気温は？～最大で4.8℃の上昇も～

・1986年から2005年の平均を基準とした2081～2100年の世界の平均地上気温は、可能な限りの温暖化対策を前提としたシナリオ(RCP2.6)では0.3～1.7℃、緩和策を実施しない前提のシナリオ(RCP8.5)では2.6～4.8℃の範囲に入る可能性が高いと予測される。
(※) 気温上昇を2℃以内に抑えることが重要であると国際社会の共通認識となっている。

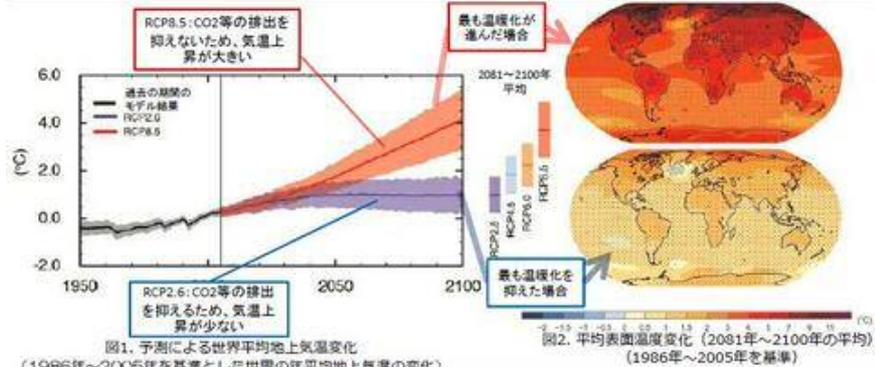


図1. 予測による世界平均地上気温変化 (1986年～2005年を基準とした世界の年平均地上気温の変化)

図2. 平均表面温度変化 (2081年～2100年の平均) (1986年～2005年を基準)

・気温上昇には地域差がみられ、北極、南極で高い気温上昇となる
 ・陸地は海よりも気温が上がりやすい

出典: 図1 IPCC AR5 WG1 政策決定者向け要約 Fig. SPM.7, 図2 IPCC AR5 WG1 政策決定者向け要約 Fig. SPM.8

環境省

37

(↑)IPCC第5次評価報告書の概要-第1作業部会(自然科学的根拠)より
 また、「CO2の総累積排出量と世界平均地上気温の変化は比例関係にある」との新見解を示しています。

気候変動を抑制するには、温室効果ガス排出量の抜本的かつ持続的な削減が必要であるとも言っています。

地球温暖化が進めば、不可逆的なリスクもあり、我が国でも気温、降水量に様々な影響が起きると考えられます。

(2) 国際的な取り組みについて—2020年以降の新たな国際枠組み構築について—
 主要国のCO2排出量のシェアは、米中2か国で世界の40%以上となっており、両国はそれぞれの思惑から、今後は排出量削減に積極的に動くものと思われます。

世界の二酸化炭素排出量(2010年)



(↑)2010年現在 (EDMC/I社調べ・経済統計要覧2014年版)

米国は安いシェールガス(他の資源に比べて温室効果ガス排出量が少ないと言われていたが、逆の指摘もある)を持ち、中国は深刻な大気汚染問題をかかえているため。

(3) 国内の取り組み—再生可能エネルギーの導入と省エネルギーの推進

- ・温室効果ガスの削減→再エネ、省エネ
- ・低炭素社会へのアプローチ(里地、里山、里海)
 施策例: 風力、木質バイオマス、バイオガス潮流、モーダルシフト、ヒートアイランド対策など
- ・低炭素技術・・・海水浮 風力、水素、小水力など

(4) 次のようなまとめで終わりました。

CO2対策は長期間続く。経済とうまく整合して持続できる仕組み作りが必要である

こと。

また、地域創成に向けて、再生可能エネルギーは可能性を秘めている。

【ウナギはなぜ消えた？海の幸を子孫に残す法】

講師：勝川俊雄氏（三重大学生物資源学部准教授）

モンレーベイ水族館（オアフ島の南）では、入場者への教育の一環として、持続性の観点から食べて良い魚と、避けるべき魚のリストをつくり、無料で配布しています。レストランでは、シェフが消費者を対象に持続的な魚食教育を行っています。消費者の日々の選択が明日の社会を変えると考えるからです。

ウナギの資源量がかなり以前から減っているのに、目に見える対策がとられておらず、今日「ウナギが食べられなくなる！」といったマスコミ報道ばかりが目につきます。この問題は前々から分かっていたことで、情報が共有されなかったのです。日本がヨーロッパのウナギを輸入しつくしまったためです。以前のように、ウナギはハレの日に食べるもので、ファストフードではなく、スローフードとしてよく味わって食べるものとの認識を持ってほしいと思います。

海のエコラベル「MSC」について

<http://www.wwf.or.jp/activities/nature/cat1136/cat1143/>



海のエコラベル「MSC (Marine Stewardship Council、海洋管理協議会)」の青いマークのついた水産物をご覧になったことはありますか？ このマークはいつまでも魚を食べ続けることができるように、海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物（シーフード）に与えられる認証エコラベルです。消費者がこのマークのついたシーフードを選ぶことで、世界の海洋保全を間接的に応援できる仕組みです。WWFは、国際的な海洋保全活動の一環として、MSC認証制度の普及をサポートしています。

<まとめ>

消費者の権利と責任・・・お金を払うことだけが責任ではない。持続性についての責任もある。

講師：塚本勝巳氏（日本大学生物資源科学部教授）の<まとめ>

①天然ウナギを獲らないようにしましょう。養殖ウナギも美味しくなっている。

「下りウナギ」を1匹でも多く残そう・・・規制が必要だが、既に進んでいる県もある。

（「下りウナギ」とは、産卵のため秋に海に向かって川を下る大きく成長したウナギのこと）

◆外国産ウナギは買わないようにしましょう。

行政には、ウナギの種の表示をするように求めたい。

ニホンウナギを食べよう。大量に食べなければ良い。

◆消費者の意識改革を・・・安いウナギを食べないこと

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月17日

第2回エコ・クッキング選手権

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月28日

平成26年10月25日、東京ガスキッチンランド川崎にて「第2回しながわエコ・クッキング選手権-決勝大会」開催され、その最終審査の様を見学させていただきました。今年のお題は「旬のさんま弁当」。開会式の後、4名の審査員が見守る中、書類審査で選ばれた4人のファイナリストが1時間の調理に挑んでいました。



書類審査の時点でコンセプトやエコ意識の高さが採点されていますが、当日は普段とは使い勝手が違うキッチンで、審査やカメラのフラッシュが光る中での調理です。水、ガス、お湯の使用量が出る特別なメーターも気をつけねばなりません。

「調理中はもう無我夢中で...洗い物の時点でやっと『ここは審査会場だったんだあ』と思い出しました(笑)」とは、昨年最優秀賞受賞者の喜多さんの談。皆さん真剣な表情で取り組んでいらっしゃいました。



試食は完成順で、審査員にアピールポイントなどをプレゼンします。お弁当なのでさんまの臭みを消す工夫が必要とされるなど、皆さん課題自体がとても難しいと感じたそうです。

- ・金澤亜希子さん「秋の味覚ぎっしり弁当」
- ・鈴木理恵さん「お魚もお肉も欲張り弁当」
- ・黒田美雪さん「ごはんがススム！さんま梅煮弁当」

©市川貴弘さん「秋のサンマとお米のパンのバインミー」



最優秀賞は完成が最後だった市川さんでした。ベトナム風にまとまったユニークさと素材へのこだわりが評価された様子...上手く行かなかった点なども気取らず語った熱意あるプレゼンも印象的でした。

審査中は緊張の解けた出場者同士の試食のしあっこになるなど、アットホームな大会となっていました。認知度が上がる前で、まだ応募も少な目な選手権。興味のある方は是非来年の決勝大会出場を狙ってみてはいかがでしょうか？（*最優秀賞は「大商業まつり2014」にてレシピ&限定販売があるそうです）

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月28日

しながわ花海道プロジェクト「菜の花の種まき」

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年10月31日

今年の「菜の花の種まき」が10月19日（日）10時から開催されました。当日は晴天の休日で、真夏のような暑い日でした。コスモスの花がまだ残っている場所もありましたが、参加した皆さんは枯れていたコスモスを抜き、土を耕して、そこに肥料を入れ、菜の花の種を蒔いていました。



土を耕しています



斜面なので力が入ります



土に肥料を入れて種を蒔いています



ネットをかぶせています（鳩の被害を防止）



鳩が種を食べにきます



馬の鈴草(ウツリガ)を育てています

耕した場所に蒔いた種を鳩が食べにくるため、ネットをかぶせて保護しながら、菜の花の生育を見守りたいと思いました。「2、3日後には雨が予想されるので、1週間くらいで芽が出てきます」と花海道プロジェクトの方が話していました。（9月21日～23日は降雨あり）来年の春には黄色のじゅうたんのようなことになることでしょう。

また今年から、ポンプ所近くの区画で「馬の鈴草(ウツリガ)」を育てています。この草はジャコウアゲハの食草であり、ジャコウアゲハは翅を広げると10cmくらいの大型のチョウで、雄は黒色、雌は褐色をしています。これまで実物を良く見たことがないので、来春、菜の花と優雅に舞う大型のチョウと一緒に見られるものなら、ぜひ見てみたいものです。

カテゴリ: 平成26年度

投稿日: 2014年10月31日

二つの海洋島(2) ガラパゴス諸島

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年11月12日

二つの海洋島 ガラパゴス諸島

海洋島には大型動物はいないのが一般的だが、ガラパゴスだけは特別である。その理由は海流にあり（下部図参照）イグアナ、ソウガメ、アシカ、ペンギンなどが容易に到達しやすかったという特別事情がある。



国立公園管理局のマーク：

ガラパゴスソウガメ・ロンサムジョージとシモウザメ
陸のみでなく、海域も世界遺産であることを示す。

独自の進化を遂げたガラパゴスの生き物になぞらえて、日本社会において世界標準からかけ離れた、さまざまな現象を「ガラパゴス化」と言い始め、最近では「駅伝」までもがこの冠称をつけられた。特異まれなガラパゴスの自然はまったく顧みられない、残念な呼称である。

島の成り立ちと海流



伊藤秀三「ガラパゴス諸島」より

ホットスポットからの噴火により島が誕生、ナスカプレートは南米大陸へ移動。島々は毎年5cm移動、500万年後に水没する

下図：諸島周辺 右側大陸方向から3海流（パナマとペルーと南赤道）と左：クロムウェル海流



溶岩二態：左 バホエホエ・ラバ 右 アア・ラバ 溶岩成分は同じでも、粘性の違いで、流れるものと、どまってしまうものがある

溶岩の呼び名のふしぎな音感に、語源を地質学者に尋ねると、火山噴火で絶えたハワイの部族の言語とのことだった。溶岩の異なる状態が的確に表現されていたため、火山学で世界的に使うようになったという。2014年10月 ハワイ・キラウエア火山は粘性の低い「バホエホエ」が現在流出中。時速15mで、居住地に迫っている。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年11月12日

虹と光のふしぎなお話

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年12月16日

11月28日（金）、品川区立二葉保育園（二葉かがく研究所）で「にじとひかりのふしぎなおはなし」がありました。講師は、品川区環境情報活動センターの大島正幸さん（気象予報士）です。

虹が見えるのは、いつ、どんな時でしょう？ みんな元気に手を挙げて答えてくれました。



にじがみえるのはいつ？

- ・あさ ○
- ・ひる ○ **おひさまが でていとき**
- ・よる ×
- ・はれているとき ○ ちいさい あめがひらふと
- ・くもっているとき ×
- ・あめがふっているとき ×

ちょっと難しいですが、大切な話です。光の白い色は7つの色（赤・橙・黄・緑・青・藍・紫）からできています。太陽の光は、雨が降った後に残っている雨粒の中に入り、はね返った光が7つに分かれ、私たちはその分かれた色の光を見ているのです。

にじがみえるのは



にじをつくりましょう

- あめがふったあと おうちのぞとで CD で
- CD と ひかりで
- みず と かがみで
- プリズムをつかって
- ふしぎな シートをつかって

お話の後、「虹」（虹の模様）を作る実験をしました。



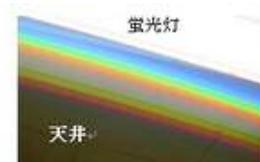
懐中電灯の光と CD を使って



天井



トレイと水



蛍光灯

天井

ふしぎなシート（分光シート）を通して蛍光灯を見るとこのように見えます

みんな大喜びで「わー！にじがある！」と大感激してくれました。おみやげの分光シートを使って、お家でお父さん、お母さんと一緒に「虹」を見てくれたと思います。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年12月16日

12月はじめのしながわ区民公園

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年12月17日

12月2日（火）しながわ区民公園で晩秋から初冬の季節を肌で感じてきました。この日の朝は、12月に入って本格的な冬の到来を思わせる寒さでしたが、日中は澄み渡った青空に、もみじの紅色が映えていました。しながわ区民公園管理事務所の丸山均さんに、園内を案内していただきました。

もみじロードは今が見ごろで、夏の暑さと、このところの急な寒さのため、例年より色付きが良いようだとのことでした。もみじの下には寒椿もきれいなピンクの色を添えていました。

よく見るともみじの種が見えました。これらが落ちて子孫を増やします。



管理事務所前



もみじロード 寒椿も



もみじロード



もみじの種

園内の路は「武蔵野のイメージが漂う」とおっしゃる丸山さん。落葉樹と常緑樹がマッチして、一層季節を感じさせてくれていました。いまは黄色からやや茶色のメタセコイヤですが、もうしばらくすると赤くなるそうです。イチヨウの黄色は、もうしばらく楽しめそうです。（12月2日現在）



イチヨウの鮮やかな黄色は終わってしまいましたが、代わってメタセコイヤが色付いてきました。



(12月15日現在)

(取材 環境情報活動センター)

カテゴリ: 平成26年度

投稿日: 2014年12月17日

二つの海洋島(3) ガラパゴスの自然と保全の方策

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年12月18日

二つの海洋島(3) ガラパゴスの自然と保全の方策

環境カウンセラー 倉田智子

できたての火山台地は生き物を寄せ付けない。それでも熱が冷めて、溶岩の風化が始まると、ヨウガンサボテンが生えてくる。土は次第に量を増していく。土量が少ないと、ハシラサボテン、増えてくるとウチワサボテンである。そしてここにある動物がかかわってくる。ゾウガメやリクイグアナが生息する島のウチワサボテンは、食べられないように高く茂り、食べられる心配のない(つまり捕食者がいない)島のウチワサボテンの樹高は低い。これは進化の結果なのだという。南北の位置の隣り合わせの島で、片方の島にリクイグアナがないのはなぜか不思議に思い、人為でリクイグアナを移動させた例がある。そしてこの移動は後に、従来の生息地のリクイグアナが消滅した時に、実験的に移動させた個体で繁殖を試み、元の生息地に放つことで、種の保全につながった。



世界遺産を維持するための対策はいろいろある。今でもヤギの駆除は必須だ。ロンサムジョージの故郷、ピンク島では当初、標的にしなくても弾丸は当たるほどだったという。イサベラ島では頭部のない動物を3体見る機会があった。人が居住する島では、駆除したものは街のレストランで供される。犬猫はマイクロチップ装着が義務付けられている。イヌはヤギの駆除や果物の検疫(ほかの島に渡る場合、持ち込み不可)で活躍している。



進化の極み・ウミイグアナを、「気持ちが悪い」という人がいる。海藻を食べた後は日向ぼっこ、時折くしゃみを飛ばし、人に怖じず、マイペース！幼体は上空を鳥が飛ぶと、警戒して身をかがめる。成体でも道路を渡るときは車が過ぎるのを待っている。暮らしぶりをよく知れば、限りなくかわいい。地元でも愛され、擬人化されてサーフィンショップの外壁にいた。



グリーンカーテンでおなじみのゴーヤがこの地にもある。とても小さくかわいらしい。実は5程、原産地は汎熱帯で栽培種の逸出らしい。食べようと試みたが、刃物で割ることは困難なほど硬い。フィンチのえさにしかならないのだ。固有種のフウセンカズラもある。英名heart seed スペイン語ではfuego frito (目玉焼き)。

白い花と黄色の蜜標を卵料理に見立てた名前という。



カテゴリ: 平成26年度

投稿日: 2014年12月18日

“エコプロダクツ2014”に行ってきました

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年12月24日

12月12日（金）、東京ビッグサイトで開催されている日本最大級の環境展示会“エコプロダクツ2014”に行ってきました。当日は平日（金）で、社会科見学の子どもの来場者が非常に多く、賑やかで活気にあふれていました。



出展者は新しい技術や企業のCSR活動（環境への配慮）、照明・環境ビジネス、自動車・運輸、環境関連素材など、多岐にわたっていました。その中で個人的な関心としては、従来から使われている「IT（Information Technology）」に代わる言葉としてのICT（Information and Communications Technology／情報通信技術）が目につきました。ICTはITとほぼ同義の意味を持ちますが、コンピューター技術の活用に着目する場合をICTと呼ぶ場合もあり、環境分野でもその活用が進んでいます。例えば、富士通は、気象庁に24時間365日、確実に気象情報を提供し続ける仕組みや、気象・防災情報をいち早く確実に届けるシステム作りで関わっています。また東芝は、野菜を育てるために必要な照明や養液成分、空調をICTで一括管理し、一年を通して（工場での）野菜作りに最適な環境を保っています。今回も‘オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」’として、品川区も出展しました。また、当日は品川区としてのワークショップ「ペットボトルで“雲”を作ろう」が開催され、小学生を中心に約50名が参加しました。



（環境情報活動センター取材）

カテゴリ: 平成26年度

投稿日: 2014年12月24日

しながわ中央公園のイルミネーション

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年12月24日

区役所防災センター前のしながわ中央公園では、白と青のLEDで彩られたイルミネーションが私たちを迎えてくれています。

防災センター前の信号を渡ると、木の枝に取り付けられた白のLEDが、冬の枝に温かみを感じさせてくれます。またパーゴラの上に飾られた約2,000個の青色LEDは、藍色の夜空に美しく映えています。春や秋に比べ、やや寂しい感じがする冬の公園ですが、このような趣向はうれしいですね。

2014年のノーベル物理学賞に輝いた日本人の功績が、ここでも見られるかと感慨深いものがあります。（ややオーバーですね）

（参考）ノーベル物理学賞の授与理由は、「効率的な青色発光ダイオードを発明し、明るく省エネルギーな白色光源を可能とした」とのことですが、光の三原色が揃うことにより、完全な白色をはじめ、無限の色が再現できるようになりました。



カテゴリ：平成26年度

投稿日：2014年12月24日

▲環境情報活動センター
トップページへ戻る

みんなのエコ広場

環境学習講座 ※終了

過去の講座を紹介します

ECOトピックス

◆しながわECOだより

令和3年度

令和2年度

令和元年度

平成30年度

平成29年度

平成28年度

平成27年度

平成26年度

平成25年度

平成24年度

平成23年度

平成22年度

平成21年度

平成20年度

平成19年度

平成18年度

平成17年度

おすすめ情報

区民環境記者レポート

リサイクルショップリボン

知識のみなもと

ECOトピックス

品川区内の出来事を中心に、エコなトピックスをレポートします！（ECOトピックスのトップへ戻る）

« しながわ中央公園のイルミネーション
» 太陽光パネルの実績

二つの海洋島(4) ガラパゴスの暮らし

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年02月13日

年間観光客20万人、ガラパゴス諸島居住者3万人の食や生活必需品などの供給はどのようなのだろうか。

観光の中心サンタクルス島にはスーパーマーケットが3軒ある。野菜・卵など地場物は町の南の文教地区にある球技場のサタデーマーケットで入手する。土曜は日用雑貨や衣料、靴や装飾品なども並べられ、お祭りの縁日のようににぎわう。火曜にも生鮮品が扱われる。ホテルやレストランは旅客便の空輸を利用する。魚はダーウィン通りに面した市場がいい。漁師が販売するので、潮の干満に対応してオープン時間が異なる。魚を買う人、観光客、さらに獲物を狙って、カッシュクベリカンやアオアシカツオドリ、アシカなどが群がる。大型船が入港し、荷を下すのは木曜日、そのため火～水曜の商店はどこでも品薄で、棚が空っぽ状態である。



フェルトアヨラ港の老舗スーパー アカデミー湾に面する魚市場 サタデーマーケット（イセエビの季節） プロパンガスボンベ空容器搬出

諸島内を就航する観光船や漁船、車両の燃料、電気を作るディーゼル発電機を動かす重油もまた運搬されてくる。輸送中の海難事故など環境へのリスクを常に抱えている。2001年、サンクリストバル島沖で起きた「ジェシカ号」事故では、サンタフェ島のウミグアナが15,000頭犠牲になった。この事故を機に州都であるサンクリストバル島に風力発電が設置された。島民6000人の消費電力の半分を3基（800KW/基）で賄う。また「ガラパゴス諸島における化石燃料ゼロプログラム」が立案された。バルトラ島には燃料の備蓄タンクがある。対岸のサンタクルス島には小型タンカーボートの給油ポイントがあり、フェルトアヨラまで陸路を運ばれていく。港より2km離れた、島内ただ一カ所のガソリンスタンドまでに限られ、タンクローリーが町中を走行することはない。



バルトラ島備蓄タンク サンタクルス島給油ポイント（室田真子氏撮影） イサハラ島火力発電所 サンクリストバル島風力発電

リンク

[このブログを購読する](#)

当サイトはSSL対応です



当サイトでは、お客様の個人情報に係わる通信に、SSL暗号化技術を使用しております。詳細は、上の画像をクリックしてご確認ください。

住民100人の島フロレアーナ島の港で空のドラム缶を見たが、日中は停電していた。17～24時、ディーゼルが稼働する。ソーラーパネルがあり、蓄電設備もあるのだが季節によっては不足らしい。2011年6月、コリア大統領は「化石燃料ゼロプログラム」推進のためにガラパゴス州を訪問した。バルトロ島では現在日本のプログラムによりソーラーパネルや風力発電の設置が進行中。



フロレアーナ島で撮影：空のドラム缶 小規模火力発電所 集会所の屋根はソーラーパネル 蓄電装置 海軍のソーラーパネル



演説中のコリア大統領（サンタクルス島）2011.6 ソーラーによる灯台 サンティアゴ島 バルトロメ島 ターウィン研究所ゾウガメ孵化用ソーラーパネル

環境カウンセラー 倉田智子

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年02月13日

« [しながわ中央公園のイルミネーション](#)
» [太陽光パネルの実績](#)

太陽光パネルの実績

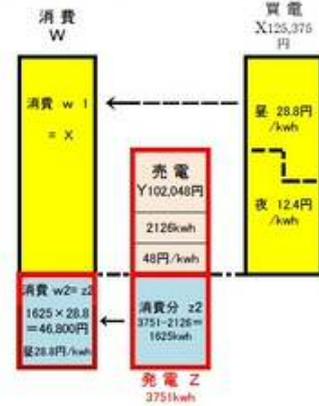
カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年02月19日

*【ファイルをダウンロード】をクリックすると大きな場面でご覧いただけます。
[ファイルをダウンロード](#)

品川区区内に住むMさんは4年前に太陽光パネルを設置し、昨年1年間の実績をまとめてお送りいただきました。
 設置費用は約250万円で、昨年の実績が継続すると仮定すると、約15年で初期費用を回収することになるということです。

発電機の詳細	
発電：発電電力量	3,751 (KWH)
消費：消費電力量	6,049 (KWH)
売電：東電への売渡し電力量	2,206 (KWH)
買電：東電からの買取り電力量	4,504 (KWH)
東電の詳細	
売M：発電量の検針値	2,126 (KWH)
売金額：東電への売渡し電力金額	102,048 (円)
買M：使用量の検針値	4,381 (KWH)
買金額：東電への支払い金額	125,375 (円)
(基本料、税込)	



計算上は以下の通り

3,751KWH(以下、単位省略)発電し、2,206を東電に売り渡した。

6,049を消費したので、4,504を東電から購入した。

$3,751 - 2,206 = 1,545$ ・・・自家用に使用

$6,049 - 1,545 = 4,504$ ・・・購入分

検針により、実際には以下の通り

買電 X (125,375円) - 売電 Y (102,048円) = 支払い電気料金 (23,327円)
 消費電気料は発電電気料に比べほんのわずかに赤字で支払いが発生した。

発電が無いと上記の買電代 125,375円の他に発電で賄っていたw2相当の 46,800円を合わせた約17万円(172,175円)の支払いが起きる。

太陽電池モジュール詳細	パワーコンディショナー詳細
メーカー：昭和シェルソーラー	メーカー：昭和シェルソーラー
形式：SC75-A	形式：SPC4002
動作電圧：40.5V	定格容量：4.0Kw
最大出力：75W	台数：1台
設置枚数：42枚	

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年02月19日

二つの海洋島(5) 小笠原諸島

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年02月19日

小笠原諸島は「東洋のガラパゴス」と称されるが、生き物はガラパゴスに比べると地味である。これは海洋島の特徴とされる、「島症候群」という現象のうち、生物が到達する困難さによる。その結果、大陸に比べて種の数が圧倒的に少なく、また偏ってしまう。存在は地味だが、ガラパゴスに比べて劣っているということではない。それぞれに価値があるものである。



固有種が満載のロゴマーク：

植物：ムニンツツジ・ムニンノボタン・マルハチ・オガサワラビロウ等

動物：陸貝（カタツムリ）・アカガシラカラスバト

小笠原諸島は第二次世界大戦後1968（昭和43）年に返還されて東京都小笠原村になり、1973（昭和47）年国立公園に制定。2011（平成23）年ユネスコ世界自然遺産登録された。面積は104.4 km²、島の名前は、父島から北へ兄島・弟島・孫島・嫁島・媒（なこうど）島・髻（むこ）島、母島から南へ姉島・妹島・姪島、と人間の血縁関係の呼称となっているのは興味深い。

東京都の離島で一番子どもが多いという小笠原村。子育て世代が多く移住している。

人口 2,529 世帯数 1,375（H24.1統計）小学生 169 中学生 60（H26年4月統計）

北緯27度に位置し亜熱帯気候で、梅雨もあり、台風の通り道でもある。

活発な海底火山活動により形成された岩石が現在の小笠原の基盤で、その証の枕状溶岩が散見する。フィリピン海プレート上にあり、東側をその下に潜り込む太平洋プレートが形成する南北に走る小笠原海溝がある。



父島 八ツ瀬川河口付近 枕状溶岩 南島から父島を見る 沈水カルスト地形 南島 石灰岩質の風景 ラビエ

小笠原は緑豊かな島だ。これはガラパゴスとの決定的な違いである。海底火山が隆起したため、溶岩台地に比べて、植物の生育は容易だったのだろう。最高標高は父島326m、母島462m、このわずかな差でも、母島にしか生育しない植物がある。陸貝のカタマイマイは地上で3m離れたら、別種であるという。海洋島としての地

形や景観、生物多様性、また諸島の総面積104 km² に比して固有種の割合が高く、特に陸貝や植物には、進化の過程が分かる貴重な証拠が残されていることが評価されている。

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年02月19日

花海道から「しながわ区民公園」へ

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年02月26日

2015年2月11日、勝島運河沿いにある花海道を訪れました。当日は久しぶりに暖かく、少しですが菜の花が咲いていました。その場所にジャコウアゲハのサナギを見つけようと思ったのですが、ジャコウアゲハのサナギを発見することはできませんでした。あきらめずにまた日を改めて訪ねて探してみようと思います。花海道ではジャコウアゲハの食草である馬の鈴草を育て保護しています。



他に何か見つけたいと思って、近くにある「しながわ区民公園」へ足を運びました。この公園の梅山には梅（ウメ）を除いて118本の梅があるそうです。緋梅（ヒメ）は満開、白加賀（シカガ）は蕾、玉牡丹（タマボタ）が5分咲きで、八重寒紅（ヤカウリ）と満月枝垂（マゲツダレ）は3分咲き、梅以外ではボケが3分咲きという感じでした。これらの見頃情報は「区民公園だより」や入口付近のホワイトボードでも確認することができます。



事務所前のホワイトボード

緋梅（ヒメ）

満月枝垂（マゲツダレ）

ところで中国から伝来した梅は、江戸時代に品種の改良が盛んに行われて、現在では300種以上あるそうです。そして分類上では鑑賞用の「花梅」と果実用の「実梅」に分けられます。また「花梅」は野梅系、緋梅系、豊後系に分類され、それぞれ特徴がありますが、豊後系は梅と杏の雑種で花は桃色のものが多いそうです。

緋梅（ヒメ）は緋梅系で花色が濃い紅色や緋色をしていて、梅林の中でもひとときわめだつて咲いていました。野梅系には白色の花をつける玉牡丹（タマボタ）、紅色の八重の花びらに特徴がある八重寒紅（ヤカウリ）、満月枝垂（マゲツダレ）はなだらかな枝ぶりが他の梅とは違った美しさを見せていました。白加賀（シカガ）は梅林で見かけたことがありますが、こちらは梅干し用などに利用される「実梅」で白い花が可憐です。

平安時代（794年）より以前では「花」といったら梅を指していました。春の訪れを感じさせる2月の梅の花ですが、入学試験の結果発表に一喜一憂する季節でもあり、学問の神様と言われる菅原道真公も思い浮かびます。本格的な春はもう少し先ですが、少しずつ春は近づいています。

カテゴリ: 平成26年度

投稿日: 2015年02月26日

「二葉かがく研究所」がありました

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年03月03日

2月20日（金）、品川区立二葉保育園で「雪を降らせる？実験」と「雪の結晶を作る実験」が行われました。講師は、品川区環境情報活動センターの大島正幸さん（気象予報士）です。

同保育園では、保育日誌「今日の保育」を作成しており、今日は「二葉かがく研究所」についてでした。

以下は保育園の報告です。

☆二葉かがく研究所がありました

今日のかがかは「雪」でした。かき氷の機械を使って氷が落ちていく様子が雪が降っている状態と同じですという話がありました。子ども達が親しみやすいように「アナと雪の女王と同じ魔法を使うよ」と子ども達にわかりやすく見せてくださいました。ペットボトルの中で雪の結晶が見られるかの実験をしてくださり大成功！「わー！すごい」「見たことある」等声があがっていました。



カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年03月03日

二つの海洋島 (6) 小笠原諸島2 保全の方策

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年03月24日

世界遺産になってから3年と日は浅いが、登録前から課題があった。第二次世界大戦後の占領時代、住民退去による不在の期間がヤギの増殖に拍車をかけ、薪炭材のアカギをはびこらせた。グリーンアノールは駆除の甲斐なく生息地域を拡大している。

外来生物の対策は必須であり、困難を極めている。世界遺産は登録で終わりではなく、環境を維持することが永続して求められる。

(写真をクリックすると拡大します。)



ヤギ食害の植生が回復しつつある斜面

ノヤギ・ノネコ侵入防止柵

アカガシラカラスバト生息地



ネコ用わなの回収 (東京都レンジャーさん記事より) アカガシラカラスバト出現調査自動撮影カメラ ノネコ対策効果で居住地域に飛来 クリーンアノール捕獲わな



ねこ待合所 (捕獲ネコ一時飼養施設)

林中のネズミ用わな

登山道に現れたクマネズミ



眺望がよい場所に外来種侵入(ランタナとギンネム) 特定地域に種子を運ばないようブラシで靴底をぬぐう 見学ルート路肩崩落防止に在来イネ科植物を利用
外来種とは、もともと地域にいなかったもので、人間の活動によってほかの地域から入ってきた生物をいう。海外のものばかりでなく、日本の中でも地域が異なれば、外来種となる。外来種は移動先において、生態系に影響を及ぼし、従来見られなかった侵略的特性を出現する場合があります、被害が発覚した時には手が付けられない事態となることが多い。(環境省外来生物法参照)

環境省環境カウンセラー 倉田智子

カテゴリ：平成26年度

投稿日：2015年03月24日